令和４年度　年間指導計画

教科・科目	国語・古典A	学年	第2学年	教科書	第一学習社「高等学校　改訂版　標準古典A　物語選」
		単位数	2単位	副教材	数研出版「九訂版体系古典文法」 桐原書店「重要古文単語315三訂版」 大修館書店「トータルサポート　新国語便覧」

学習目標	古典としての古文と漢文を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。
学習方法	○ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。 ○古典に表れた思想感情を捉え、自分の考えを深める。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって古典に親しもうとする。
b	読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え、古典に親しむ。
c	知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解している。

学期	月	内容のまとまり	時間数	単元（題材）	学習内容	評価観点 a	b	c	単元の評価規準	主な言語活動	評価方法
前期	4	説話	6	十訓抄 文字一つの返し 古今著聞集 小式部内侍が大江山の歌の事	短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 古典特有の表現を味わい、現代のことばとのつながりについて理解する。	○	○	○	a、話のおもしろさを理解している。我が国の文化に興味を有している。 b、文章の展開を理解し、情景が読み取れている。 c、古語や漢字を理解している。我が国の文化と古語の関連について知識を有している。	身近な説話から、日本古来の文化・表現を習得し、現代との差についてグループ討議をする。	ワークシート 確認テスト 観察 単元テスト 提出物
	5		8	伊勢物語 初冠	歌物語に見られる叙情性、話の展開を理解する。	○	○	○	a、和歌と文章の関係を理解している。 b、和歌・文章の展開を理解し、情景が読み取れている。 c、和歌の修辞や語句を理解している。		
				大和物語 姨捨	地方を舞台にした古伝承を読み日本の文化や当時の人々の思いを理解する。	○	○	○	a、和歌と文章の関係を理解している。 b、和歌・文章の展開を理解し、情景が読み取れている。 c、和歌の修辞や語句を理解している。		
	6	随筆	6	徒然草 吉田と申す馬乗り	話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a、登場人物の人間関係を理解している。 b、文章の展開を理解し、情景が読み取れている。 c、古語や漢字を理解している。	登場人物の心情を推し量りながら、情景描写を読み解く。	
				方丈記 安元の大火	写実的な描写にすぐれている古文を読み、書き手の観察眼や表現効果について考える。	○	○	○	a、文章の展開を理解している。 b、当時の社会的な背景を考慮しながら著者の思想や感情を理解し、読み取れている。 c、古語や文法を理解している。		
	7 8	故事・寓話	4	画竜点睛 推敲	訓点の復習、書き下し文にする。 古代中国人のものの見方、考え方を味わう。単元のまとめをする。	○	○	○	a、話のおもしろさを理解している。 b、文章の展開を理解し、情景が読み取れている。 c、四字熟語・漢詩のルールを理解している。	古代中国人の志向性について文学を読み進め訳をしながら考えていく。	
	9	日記	4	蜻蛉日記 泔坏の水	作者の思想や感情を読み取る。 作品に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会などを考察する。	○	○	○	a、文章の展開を理解している。 b、当時の社会的な背景を考慮しながら著者の思想や感情を理解し、読み取れている。 c、古語や文法を理解している。	前年度の土佐日記を踏まえ、女流文学・日記文学の内容を文法と訳を確認しながら読解する。	
後期	10	日記	6	紫式部日記 日本紀の御局 更級日記 門出	作者の思想や感情を読み取る。 作品に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会などを考察する。	○	○	○	a、文章の展開を理解している。 b、当時の社会的な背景を考慮しながら著者の思想や感情を理解し、読み取れている。 c、古語や文法を理解している。	日記から当時の社会背景・作者の思想について考える。 助動詞の使い分けについての知識を深化させ、高度な現代語訳に向けて古典文法の体得を目指す。	
	11	物語（二）	6	大鏡 弓争い 道長と伊周	登場人物の思想や感情を読み取る。 作品の簡潔でありながら、劇的な表現を楽しむ。	○	○	○	a、話のおもしろさを理解している。 b、文章の展開を理解し、情景が読み取れている。物語の展開を理解したうえで、場面に応じた古文の読みができる。 c、古語や文法を理解している。	二つの作品から、文法と現代語訳を確認し、古典における表現の差異を比較検討する。 その上で物語の流れをおさえ感情表現を読解していく。	
				平家物語 忠度の都落ち 能登殿の最期	登場人物の思想や感情を読み取る。 作品の基調にある仏教的無常観を感得する。	○	○	○			
	12	項羽と劉邦	5	鴻門之会	漢楚の興亡について概要を知る。 登場人物の考えと行動の関連を理解し、動きに見える感情を読み取る	○	○	○	a、漢文を正しく読めている。 b、読み下された簡潔な表現の中に、情景を具体的に思い描くことができる。登場人物の考えと 行動の関連を理解し、感情が読み取れている。 c、句形・語彙を理解している。	中国史を絡めながら、登場人物の思想と行動を結びつけ感情を読み解く。 漢文訓読のルールを振り返りながら、流暢な読解が可能になるよう演習を行う。	
	1	物語（三）	6	源氏物語 光る君誕生（桐壷） 若紫（若紫）	時代背景を理解したうえで、人物像捉え、人間関係を想起できる。 宮廷文学の言葉づかいに関心を持つ。	○	○	○	a、話のおもしろさを理解している。 b、文章の展開を理解し、情景が読み取れている。当時の貴族社会の特性を調べ、物語の展開を理解し、古文を味わうことができる。 c、古語や文法を理解している。	登場人物を把握した上で当時の貴族社会について読み解き、各人物の心情を理解し味わう。 宮廷文学で頻出している敬語を理解し、敬意の方向を把握できるように現代語訳を踏まえながら知識を深化させる。 また現代の日本語における敬語を照らし合わせて言語の相互理解・言語習得を目指す。	
	2	漢詩の鑑賞	7	近体の詩 鹿柴　絶句　春夜	漢詩のきまりについて理解し、リズムを意識した読みができる。作者の心情などを理解する。 詩中に表現された人間観、自然観を読み取る。	○	○	○	a、漢詩を正しく読めている。 b、詩人の思想や感情を理解し、読み取れている。 c、漢詩の詩形や押韻を理解している。詩中に表現された人間観、自然観と我が国の人民の感性との連関性あるいは相違について考察する。	対句など漢詩のルールを復習し、その上で漢詩の世界観についてペアワークを行う。	
	3	諸家の思想	6	孟子 仁人心也 民父母 荘子 隨得腐鼠 胡蝶之夢	諸子百家の主張を理解する。漢文の持つリズムを味わう。	○	○	○	a、漢文を正しく読めている。 b、作者の思想を理解し、読み取れている。素読に文のリズムを感得し読みの中で表現できる。 c、句形・語彙を理解している。	思想家の系譜を便覧を用いて理解しながら、それぞれの人物観・思想を読み解く。 漢文固有のリズムに触れながら、現代語訳を完成させることができるレベルに到達するよう句形を中心に知識を習得する。	
合計時数(55分授業)			64								